

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

ELIC

2010年5月10日

No 269

1部100円

発行者ELIC編集委員会谷口利男
108-0073 東京都港区三田3-2-20
TEL(03)3455-6006 Fax3451-3595
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

「電機産業の今後のあり方」

労働組合の集团的交渉によって労働条件向上を！



電機懇は4月24日(土)午後、東京・芝公園福祉会館で「電機産業の今後のあり方」と題する学習会を開催し、日立・東芝・NEC・OKIなど9企業連・20職場から33人が参加し、現状と今後の労働運動についても意見交換が行われました。

学習会では、電機懇今井代表が自らの体験を踏まえた電機産業の浮き沈みを紹介し、今後の労働運動についてもヒントを掴める機会にしたいと開会挨拶をしました。続いて電機懇井坂政策委員長が、電機連合の産業政策について批判的見解を説明しました。記念講演を桜美林大学の藤田実教授から「日本の電機産業構造変化と課題」について講義して頂き、「要素価格均等化の定理」など新鮮な提起もありました。

職場からは、東芝・日立・NECからあり、質疑応答は8名から行われ、藤田教授から丁寧な回答を受け内容が深まりました。

閉会挨拶は、電機ユニオンの東委員長が行いました。(会場写真)

今月号の紙面

- ①電機産業の今後のあり方
- ②学習会の内容ポイント
- ③10年春闘を振り返って
- ④日立工機再雇用で交渉実現
電機ユニオン茨城支部結成
- ⑤パナソニック若狭の裁判と総会
- ⑥私の自慢「冤罪事件」佐竹さん
- ⑦電機ユニオン、青年コーナー
- ⑧電機懇第23回総会の案内
女性部行事、掲示板、集積回路